看護学科　３つのポリシー

ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

１．　感じ取る力

１）多様な文化・価値観をもったあるがままの人間を個人として受け止め、尊重できる。
２）対象および対象を取り巻く人々との関係の中で、思いや希望、心身の変化に気づくことができる。
３）命を尊び、人の生死に対し真摯に向き合うことができる。
４）対象の変化や保健医療福祉の動向に関心をもち、医療や看護へのニーズに気づくことができる。

２．　考え構成する力

１）対象の反応の意味を多角的に分析・解釈し、看護の必要性を考えることができる。
２）その人らしい生活を支えるために、必要な情報を提供し、自ら意思決定ができるように支援できる。
３）実践した看護を振り返り、よりよい看護を考えることができる。

３．　表現（具現化）する力

１）対象を気遣いながら、より良い関係を築いていくことができる。
２）対象の思いを受け止め、必要な情報を提供し、自ら意思決定ができるように支援できる。
３）切れ目のない医療の実現に向け、チーム医療のなかで看護の視点から情報を発信できる。
４）その人らしく生きるために、対象のもてる力を活かしながら、安全で安楽な看護が実践できる。

４．　成長する力

１）より良い看護がしたいという思いを持ち、学び続けることができる。
２）自己の課題に気づき、解決に向けた努力ができる。
３）仲間と共に学び支えあい、互いに支えあい、互いに高めていくことができる。
４）様々な状況に柔軟で粘り強く対応できる。
５）専門職業人としての誇りと自覚を持つことができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成に関する方針）

ディプロマ・ポリシーを達成するための教育課程で看護の役割を果たすために 4 つの力を発展させながら基礎的看護実践能力を育成するカリキュラムとした。本校は保健医療施設や地域において健康の担い手として活躍できる看護師を育成するためカリキュラムを編成し実施する。

1．今後の医療動向を見据え、高度化・多様化・複雑化する看護ニーズへの対応が求められる。
　４つの力を発展させながら基礎的看護実践能力を育成するカリキュラムとし
　「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」で編成する。
2．基礎分野は科学的思考を基盤とし看護の対象である人間を広い視野から総合的に理解する
　「人間と生活」「人間と社会の理解」で編成する。
3．専門基礎分野は健康・健康障害に関する観察力や判断力に必要な基礎的知識「人体の構造と機能」
　「疾病の成り立ちと回復の促進」、及び生活者の健康を守り、社会生活を支援するための知識、
　社会医療システムを学ぶ「健康支援と社会保障制度」で編成する。
4．専門分野は「基礎分野」「専門基礎分野」で学習した内容と関連付けながら、4 つの力を発展させながら学修できるよう各領域で科目を配置する。
5．専門分野では強化して学習させたい内容「臨床判断能力」「安全な看護技術」「コミュニケーション」「看護倫理」「医療安全」「マネジメント」に関する教育内容を段階的に配置する。
6．臨地実習では 4 つの力と生活者として対象をとらえることを軸として各看護学の科目設定をする。
7．実践の場に即した学びのために、アクティブラーニングを活用した学習機会を提供する。
8．学習目標の達成度を様々な側面から総合的に評価するために、多彩な評価方法を取り入れる。

アドミッション・ポリシー（求める人物像）

1．　人を思いやる気持ちを持ち、他者と協調して人間関係を構築できる人

2．　物事をありのままに受けとめることができ、誠実に対応できる人

3．　自分の思いや考えを、自分の言葉で表現することができる人

4．　学習習慣を身につけて、意欲的に学び続けられる人

5．　マナーやルールを守り、責任ある行動がとれる人